

2016年現代心理(心理)・コミュ(コミュ)・観光(交流)・経営第1問

1枚目/2枚

数理  
石井K

1 次の空欄  ~  に当てはまる数または式を記入せよ。

- (1) 赤と青の2色を両方とも必ず用いて、正四面体の各面を塗り分ける場合の数は  通りである。ただし、回転して一致する場合は同じものとみなす。
- (2)  $n$  を  $1 \leq n \leq 16$  を満たす整数とする。  $5n$  を 17 で割ったときの余りが 1 となるとき、  $n =$   である。
- (3)  $A = \log_4 120 - \log_4 6 - \log_4 10$  を計算すると、  $A =$   である。
- (4)  $k$  を実数とし、2次方程式  $x^2 + kx - 1 = 0$  の2つの解を  $\alpha, \beta$  とする。2次方程式  $x^2 - (k+4)x + 1 = 0$  が2つの解  $\alpha^2$  と  $\beta^2$  を持つとき、  $k$  の値をすべて求めると、  $k =$   である。
- (5)  $a, b$  を実数とする。  $x$  の2次式  $f(x)$  が、  $x^2 f'(x) - f(x) = x^3 + ax^2 + bx$  を満たすとき、  $a+b =$   である。
- (6) 三角形 ABC の辺の長さがそれぞれ  $AB = 2, BC = 3, CA = 4$  のとき、三角形 ABC に内接する円の半径は  である。
- (7)  $0 \leq \theta < \frac{\pi}{2}$  において、  $\tan \theta = 2$  が成り立つとき、  $\cos \theta =$   である。
- (8) 曲線  $y = x^3 - x^2 + x + 1$  と曲線  $y = x^3 - 2x^2 + 5x - 2$  で囲まれた図形の面積は  である。

(1) ~~赤4面, 赤3面青1面, 赤2面青2面, 赤1面青3面, 青4面~~ がそれぞれ1通りあるから、5通り

(2)  $5n = 17k + 1$  ( $k$ : 整数)

訂正: 3通り

$\therefore 5n - 17k = 1 \dots \textcircled{1}$   
 $5 \cdot 7 - 17 \cdot 2 = 1 \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1} - \textcircled{2}$  より、  $5(n-7) - 17(k-2) = 0$   
 $5(n-7) = 17(k-2)$

5と17は互いに素より  $n-7 = 17l$  ( $l$ : 整数)  
 $\therefore n = 17l + 7$

$1 \leq n \leq 16$  より、  $n = 7$

(3)  $A = \log_4 2^3 \cdot 3 \cdot 5 - \log_4 2 \cdot 3 - \log_4 2 \cdot 5$   
 $= \log_4 \frac{2^3 \cdot 3 \cdot 5}{2 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 5}$   
 $= \log_4 2$   
 $= \frac{1}{2}$

(4) 解と係数の関係より、  $\alpha + \beta = -k, \alpha\beta = -1$   
 $\therefore \alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = k^2 + 2$   
 $\alpha^2\beta^2 = (\alpha\beta)^2 = 1$

$\therefore \alpha^2, \beta^2$  を解にもつのは  
 $x^2 - (k^2 + 2)x + 1 = 0$   
 $\therefore k^2 + 2 = k + 4 \quad \therefore (k-2)(k+1) = 0$   
 $\therefore k = -1, 2$

2016年 現代心理 (心理)・コミュ (コミュ)・観光 (交流)・経営 第1問

2枚目/2枚

数理  
石井

1 次の空欄  ~  に当てはまる数または式を記入せよ。

- (1) 赤と青の2色を両方とも必ず用いて、正四面体の各面を塗り分ける場合の数は  通りである。ただし、回転して一致する場合は同じものとみなす。
- (2)  $n$  を  $1 \leq n \leq 16$  を満たす整数とする。  $5n$  を  $17$  で割ったときの余りが  $1$  となるとき、  $n =$   である。
- (3)  $A = \log_4 120 - \log_4 6 - \log_4 10$  を計算すると、  $A =$   である。
- (4)  $k$  を実数とし、2次方程式  $x^2 + kx - 1 = 0$  の2つの解を  $\alpha, \beta$  とする。2次方程式  $x^2 - (k+4)x + 1 = 0$  が2つの解  $\alpha^2$  と  $\beta^2$  を持つとき、  $k$  の値をすべて求めると、  $k =$   である。
- (5)  $a, b$  を実数とする。  $x$  の2次式  $f(x)$  が、  $x^2 f'(x) - f(x) = x^3 + ax^2 + bx$  を満たすとき、  $a+b =$   である。
- (6) 三角形  $ABC$  の辺の長さがそれぞれ  $AB = 2, BC = 3, CA = 4$  のとき、三角形  $ABC$  に内接する円の半径は  である。
- (7)  $0 \leq \theta < \frac{\pi}{2}$  において、  $\tan \theta = 2$  が成り立つとき、  $\cos \theta =$   である。
- (8) 曲線  $y = x^3 - x^2 + x + 1$  と曲線  $y = x^3 - 2x^2 + 5x - 2$  で囲まれた図形の面積は  である。

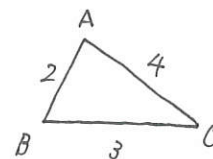
(5)  $f(x) = px^2 + qx + r$  ( $p \neq 0$ ) とおくと、  $f'(x) = 2px + q$

$$\therefore x^2(2px + q) - px^2 - qx - r = x^3 + ax^2 + bx$$

$$\therefore 2px^3 + (q-p)x^2 - qx - r = x^3 + ax^2 + bx$$

これが恒等式より、  $p = \frac{1}{2}, q - p = a, -q = b, r = 0$

$$\therefore a + b = q - p - q = -p = -\frac{1}{2}$$



(6) 半径を  $r$  とする。  $\triangle ABC$  の面積を  $S$  とする。

$$\cos \angle ABC = \frac{2^2 + 3^2 - 4^2}{2 \cdot 2 \cdot 3} = -\frac{1}{4} \therefore \sin \angle ABC = \frac{\sqrt{15}}{4}$$

$$\therefore S = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 3 \cdot \frac{\sqrt{15}}{4} = \frac{3}{4}\sqrt{15} \quad \text{一方、} S = \frac{1}{2}(2+3+4)r = \frac{9}{2}r$$

$$\therefore \frac{9}{2}r = \frac{3}{4}\sqrt{15} \text{ より } r = \frac{\sqrt{15}}{6}$$

(7)  $\tan^2 \theta + 1 = \frac{1}{\cos^2 \theta}$  より  $\cos^2 \theta = \frac{1}{5}$   $0 \leq \theta < \frac{\pi}{2}$  より  $\cos \theta = \frac{\sqrt{5}}{5}$

(8)  $x^3 - x^2 + x + 1 - (x^3 - 2x^2 + 5x - 2) = 0 \iff x^2 - 4x + 3 = 0$

$$\iff (x-3)(x-1) = 0$$

$$\iff x = 1, 3$$

$$\int_1^3 (x^3 - 2x^2 + 5x - 2) - (x^3 - x^2 + x + 1) dx = \frac{4}{3}$$

